

アマービレフィルハーモニー管弦楽団

AMABILE
PHILHARMONIC

第16回 定期演奏会



指揮 松岡 究
Hikaru Matsuoka

フルート 高木 綾子
Ayako Takagi



6/22 2024

[土] 18:00 開演 17:00 開場

おにくる ゴウダホール(大ホール)

〒567-0888 大阪府茨木市駅前3丁目9-45
茨木市文化・子育て複合施設おにくる 4F

[全席指定] S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥3,500

*※楽団会員割引あり *※未就学児入場不可 *各券種税込

チケット購入
アマービレフィルハーモニー管弦楽団事務局
TEL : 072-648-5874 (9:00~18:00)
MAIL : contact@amabile-philharmonic.com
チケットぴあ
<https://t.pia.jp/> [Pコード:263-479]

[主 催] 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団

[後 援] 茨木市 / 公益財団法人茨木市文化振興財団

ツイキャスにて同時生配信!!
配信チケット¥2,000(税込)

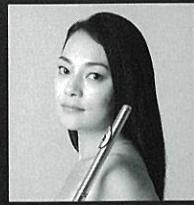




松岡 究 指揮

HAKARU MATSUOKA

指揮を小林研一郎、ヨルマ・バヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。1991年文化庁在外研修員としてハンガリーに留学。2004年よりローム財団の音楽特別研究員として3年間ベルリンにて研修。1993年より1996年まで新神戸オリエンタル劇場にて常任指揮者としてオペラ・コンサートをプログラミング・指揮。また1987年より2008年まで22年間東京オペラプロデュース指揮者を務め、その間に10作品以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「隠れたところに逸材ありき」などいすれも高く評価された。オペラのレパートリーは30作品を超える、また合唱・オラトリオ作品(ミサ・レクイエム等)にも造詣が深くその指揮は高く評価されている。2009年より2012年まで日本オペレッタ協会音楽監督兼常任指揮者、また2009年より東京ユニバーサルフィル専任指揮者、2012年9月より常任指揮者。2023年4月よりアマービレフィルハーモニー管弦楽団音楽監督兼常任指揮者に就任。



高木綾子 フルート

AYAKO TAKAGI

高木綾子は、確かなテクニックと、個性溢れる音色、ジャンルを超えた音楽性で、今最も注目を集める実力派フルート奏者である。テレビ・ラジオへの出演やCM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとらわれない幅広い活動とレパートリーで各方面から注目を集めている。愛知県豊田市生まれ。3歳よりピアノ、8歳よりフルートを始める。東京芸術大学付属高校、東京芸術大学を経て、同大学院修了。これまでにフルートを西村智江、橋本量至、G.ノアック、小坂哲也、山崎成美、金昌国、P.マイゼンの各氏に、室内楽を岡崎耕治氏に師事。高校、大学在学中よりその実力は高く評価されており、毎日新聞社主催全日本学生音楽コンクール東京大会第1位(1995年)、神戸国際フルートコンクール奨励賞(1997年)、大学内にてNTTDocomo奨学金を受け、安宅賞(1997年)、宝塚ベガコンクール優勝(1999年)、日本フルートコンベンションコンクール優勝、併せてオーディエンス賞(1999年)、第17回日本管打楽器コンクール、フルート部門第1位及び特別賞(2000年)、第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位(2001年)、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞(2001年)、ジャン=ピエール・ランバル国際フルートコンクール第3位(2005年)、神戸国際フルートコンクール第3位(2005年)など多数の受賞歴を誇る。一方で、大学在学中より本格的な演奏活動を開始。これまでに国内主要オーケストラとの共演はもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、サンクトペテルブルク交響楽団、フランツ・リスト室内管弦楽団などと共に。2004年秋にはパリ室内管弦楽団との共演でパリ・デビュー。それに続く日本ツアーにも同行し好評を博した。同時に各地でのリサイタルや室内楽など活発な演奏活動を行っている。2020年には、デビュー20周年を迎え、記念リサイタルを行った。CD録音も活発に行っており、2000年3月には「シリエンヌ～フルート名曲集」、「卒業写真～ブレイズ・ユーミン・オン・フルート」を同時リリースしてCDデビュー。その後、「ジェントル・ドリームズ～20世紀のフルート音楽」、「青春の輝き～ブレイズ・カーベンターズ」を同時リリース、クラシックからボサノバまでラテンアメリカの作品を集め、「南の想い」、17世紀から現代までのフルート・ソロ曲を集め、「エール・ブルー～青の余白」、イタリアで収録した新イタリア合奏団との共演による初めての協奏曲アルバム「イタリア」、大地、自然、生命の息吹をテーマにしたフルート名曲集「EARTH」、ギターの福田進一とのデュオアルバム「海へ」をリリースしてそのすべてが高い評価とセールス実績を残している。2010年には、デビュー10周年を記念して、ベスト盤(日本コロムビア)とモーツアルト:フルート協奏曲集(エイベックス・クラシックス)をリリース。2011年7月には、モーツアルトのフルート四重奏曲全曲集(エイベックス・クラシックス)よりリリースして好評を博す。現在東京芸術大学准教授、および洗足学園音楽大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

あなたの街にあります！「茨木市」のオーケストラ アマービレフィルハーモニー管弦楽団

AMABILE PHILHARMONIC ORCHESTRA



当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、株式会社アマービレ楽器の資金提供を受け、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は既に450回を超える。2020年に公益社団法人日本オーケストラ連盟に加盟。公演実績だけでなく他方面からの様々な支持を得ることに加え、特に歴史を重んじるクラシック業界において、創立からわずか5年という異例の短期間で日本オーケストラ連盟に38番目のプロのオーケストラ団体として加入が認められる。地元茨木市を中心に幅広く演奏活動に取り組む。これまでに「定期演奏会」を15回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」を20回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた室内楽コンサート「サロンコンサートシリーズ」を約200回、気軽にクラシックを楽しめる「ファミリーコンサート」も定期的に開催しており、各回ともに満席となっている。令和4年度より文化庁文化芸術による子供育成推進事業巡回公演事業に採択され、文化庁子どものための文化芸術体験再興事業と合わせ100公演以上を実施。茨木市を中心とした保育園、幼稚園、学校などの教育機関への有償訪問公演、高齢者施設への依頼公演なども積極的に実施。また地域へのボランティア活動として、茨木市を中心に無償にて子供向けの訪問演奏も積極的に行う。2020年より楽団Youtubeアカウントから積極的に演奏動画を発信しており、コロナ禍後の若い演奏家の演奏機会創出や、広い世代へのクラシック音楽の振興など、より広く楽団を周知する活動等に努めている。

SNS



YouTube



FaceBook



Instagram



X (Twitter)



TikTok



[全席指定] S席 ¥5,000／A席 ¥4,000／B席 ¥3,500 ※楽団会員割りあり ※未就学児入場不可 ※各券種税込

チケット
購入

アマービレフィルハーモニー管弦楽団事務局 TEL : 072-648-5874 (9:00~18:00) MAIL : contact@amabile-philharmonic.com
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:263-479]